

第 12 回 EAJ 中部レクチャー

「QOL-MaaS beyond MaaS：個人の QOL 向上と地球社会負荷削減を両立させるポスト COVID-19 社会の活動～モビリティ統合設計サービス～」報告

中部支部企画推進部会 伊藤 みほ／MIHO ITO

日本工学アカデミー中部支部(EAJ 中部)では、第 12 回 EAJ 中部レクチャーを 3 月 26 日(金)に Web セミナーとして開催した。今回は、中部大学 持続発展・スマートシティ国際研究センター長 (EAJ 中部支部長) の林良嗣教授に講師をお願いし、「QOL-MaaS beyond MaaS: 個人の QOL 向上と地球社会負荷削減を両立させるポスト COVID-19 社会の活動～モビリティ統合設計サービス～」と題して講演をいただいた。今回のレクチャーは、EAJ 中部支部内に発足した企画推進部会が企画・運営した初レクチャーで、新型コロナ感染症拡大防止に配慮し、前回に引き続き Web でのレクチャーとなった。本稿ではその報告をさせていただく。

講演では、都市の激しい交通渋滞、自動車から排出される温室効果ガス、高齢で運転ができない等の様々な問題を解決する次世代交通支援システムとして世界中で脚光を浴びている MaaS (Mobility as a Service) と、自分らしい生活を送り人生に幸福を見出す尺度・概念として注目される QOL (Quality Of Life) を組み合わせた新しい概念 QOL-MaaS とその効果 についてご紹介いただいた。

まず、交通システムが飽和状態となっているアジアのメガシティであるバンコクを事例として、'99 年以降の都市鉄道導入により'90 年代の究極の大渋滞から抜け出た交通システムの進化にもかかわらず、所得増加により乗用車の増加と大型化により都市部では再び朝夕の通勤ラッシュ時に激しい交通集中が発生し、人々は移動に一日の多くの時間を費やしてしまっていることを紹介いただき、個人の QOL を向上させるための課題解決の方向性についてもお話しいただいた。

また、個人が感じる QOL に基づく交通－空間関係の評価理論である QOL アクセシビリティ法を各国都市におけるケーススタディを用いて解説いただき、居住場所が同じでも、年齢、性別等個人属性によって QOL 値が異なることが示された。更には、サイバーシステムのサポートにより、個人の QOL が最大となり、同時に社会への負荷、すなわち交通渋滞・地球負荷・インフラ負荷が最小となる「1 日の活動と移動の時間帯の組み合わせ順列」の統合設計最適プランを提供し、個人の幸せと社会の脱炭素を同時実現する QOL -MaaS についてご紹介いただいた。

折しも、世界的に、COVID-19 が猛威を振るう中で、これまでの場所と時間を固定した都市生活に大きな変革をもたらす QOL-MaaS は、交通タイミングのシフトと活動場所・時間帯を開放することで個人の QOL 向上に繋がるのみならず、感染リスクを低減させた移動の在り方、Post-COVID-19 のニューノーマルの姿、さらには、都市のレジリエンスとカーボンニュートラル等のサステナブル社会の在り方にも繋が

ることについて、お考えを紹介いただいた。以上の内容は時節柄、大変旬な話題であったため、聴講者にとっても、今回の講演は大変意義の大きいものであったのではないかと思います。

今回も Zoom を使った Web セミナーとしたため、Q&A 機能を使って随時質問を受け付け、講演の後、それらについて林先生からご説明いただいた。この討議も大変有意義であった。また、日本工学アカデミー本部の EAJ News Letter でも本レクチャーの開催案内を告知いただいたことも功を奏し、中部地区以外の多くの方々からレクチャーへの申し込みがあり、その総数は約 100 名であった。レクチャー終了後には、Web 上で簡単なアンケートに記入いただいたが、本レクチャーへの関心の高さと、今後のレクチャー企画に対する期待を感じる記載が多くあり、大盛況のうちにレクチャーを終えることができた。

なお、EAJ 中部レクチャー用に立ち上げた HP において、当日のご講演内容を閲覧いただくことができるように準備中である。当面は Web での開催がベースとなるが、今後も会員が興味を持つ旬な話題についてレクチャー企画を考えていく予定である。

最後に、貴重な講演を行っていただいた中部大学 林良嗣教授に感謝の意を表します。また、本レクチャーを後援くださいました国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、独立行政法人国際協力機構(JICA)、中部圏 SDGs 広域プラットフォーム、協賛いただいた関西支部の関係各位の皆様にも深く感謝申し上げます。

第12回 EAJ 中部レクチャー in Webinar 2021年 3月26日(金) 15:00 -16:30

QOL-MaaS beyond MaaS
個人のQOL向上と地球社会負荷削減を両立させるポストCOVID-19社会の活動
～モビリティ統合設計サービス

林良嗣 氏
中部大学 持続発展・スマートシティ国際研究センター長・中国・清華大学招聘傑出教授
ローマクラブ本部執行役員・日本代表・世界交通学会前会長・COVID-19タスクフォース委員長
日本工学アカデミー中部支部長

協 賛： 日本工学アカデミー 関西支部
後 援： 中部圏SDGs広域プラットフォーム JST 国立研究開発法人 科学技術振興機構 jica

Sukhumvit Model Daily Life-Travel Design

Create a Daily Plan to Work and Travel with higher QoL

Leave at 7.00 a.m. Private car

Work

Kids

Shop

Rest

Leave at 7.30 a.m. SSV + Railway

walk + sky train

Railway

Arrive at home earlier

Health Timing Burden

QoL

ENERGY & ENVIRONMENT = Factor

19 March 2021 EAJ Chubu Lecture Yachiyo Higashi, Chubu University